

# ユーモアスピーチ船橋

2022 (R4) 年 11 月 10 日 発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

190 回船橋ユーモアスピーチ

2022 年 11 月 10 日 (木) 3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「紅葉」「ぬくもり」  
「自由題」「失敗題」

ロングスピーチ

工藤 文夫さま 「忘れられない〇〇事件」

常廣 貫次郎さま

むかし話：「フクロウと染物屋」ほか

主催：NPOシニア大楽

ユーモアスピーチ共和国・船橋支部

支部長：長嶋秀治 043-261-5832

発行者：長嶋秀治

編集&事務局：町田雅和

267-0066 千葉市緑区あすみが丘  
5-26-7 T/F 043-294-2911

mac555new@ybb.ne.jp

参加費 500 円 (入会金 1000 円)

見学科 500 円

開催日と場所 (原則)

毎月第②木曜日 15:15~17:30

会場 船橋中央公民館 第8集会室  
5階

10 月 13 日の参加者：常廣、中久木、工藤、長井、辻内、  
稲葉、山田、原田、飯野、佐々木、小林、町田、植野、  
長嶋 14 名

ロングスピーチ (10 月 13 日)

「昔々の脳トレクイズ」

町田 雅和さま

昔から伝わる、とんちやクイズを紹介しました

- 1 一休さんのとんち
- 2 醒酔笑 (せいすいしょう) 400 年前の笑い話集
- 3 鹿にまつわる “なぜなぜ”
- 4 とんち相撲

お正月とクリスマスが相撲を取ったら、どちらが  
どんな決まり手で勝ったでしょう？



V S



答え：ツリー出して (つり出しでクリスマスの勝ち)

- 5 化け物屋敷
- 6 小ばなしクイズ 病院編



## 「山の雑記帳から～山の動物～」

長嶋 秀治さま

## 1. 出会った動物

(1) カモシカ (写真: 1958. 8. 10) 白馬岳～白馬大池で目撃。

肉眼でははっきり見えて写真を撮る(6×6)肉眼でははっきり見えたのに写真で見ると何処に写っているんだ?と探すのに一苦労。

(2) 雷鳥 (写真: 何か所かで撮っているのでも撮影日不明) いろいろなところで出会う。

(3) 鹿 (写真: 1988. 5. 1) 丹沢蛭が岳 鹿の食害で高山植物が失われているところが多い。

(4) 狸 (写真: 1994. 11. 26) 箱根 金時山 乙女峠付近(1994. 11. 26)

(5) 猿 (写真無し) いろいろなところで目撃。

高校の国語の教科書に芥川龍之介の「槍ヶ岳紀行」が載っていた。その記述の中に猿に出会った話があった。上高地には現在はバスで入れるが当時は島々から徳本峠を越えていかなければならなかった。私も追体験としてこのコースで、と言っても逆のコース明神から徳本峠に行く行程のなかで是非猿に出会いたいと期待を持って出かけた。運よく猿に出会え(2005. 9. 17)ることが出来て嬉しかった。また当時の登山家が徳本峠にたどり着き穂高(明神)の岩壁と向き合っていて興奮を覚えていると実感した。

(6) 熊 (写真: 2009. 8. 9) 折立のバス乗り場で目撃。バスに乗っていたのでカメラを向けられたが突然山中で出会ったらと思うと恐怖を覚える。



## 2. ひょっとして・・・

(1) 出会わなくてよかった ヒグマ 1959. 7. 23 羅臼岳を目指して羅臼温泉を早朝出発。見晴台あたりで熊の糞に出会う。札幌の友達曰く「これはまだ新しいぞ」にビックリ! 周りに注意をはらいながら登った。

(2) 出会いそこなった オコジョ(イタチ科の動物) 1967. 6 蓼科山の北側に位置する大河原峠付近でオコジョがいたぞの声に行ってみたが姿は見えなかった。志賀高原では「山の妖精」と呼ばれているくらいかわいい、特に冬毛で真っ白になるとなんとも愛くるしい。ただ見た目と違い気性の荒い動物。

## 3. 出会いたい動物

(1) 大蛇 立山温泉(1964. 8)に宿泊した折、主が山の話をしていろいろと話してくれた。その中で近くの池に大蛇がいるという話があった。その大蛇とはオオサンショウウオのことだと明かしてくれた。現在は水害でなくなってしまった。

(2) 河童 初めて上高地の河童橋に出会ったのは、槍ヶ岳登山コースの一つ表銀座コースと言われている燕岳～槍ヶ岳を縦走して上高地に降りてきたとき(1957. 8. 3)河童橋の名前の由来は、昔ここに河童が住みそうな深い淵があったから、またまだ橋の無かった時代、衣類を頭にのせて川を渡った人々が河童に似ていたからとも言われている。私は小島功描く日本酒「黄桜」の画の河童家族の妻の艶めかしさにひかれてぜひ会いたいと願っている。

### 3 分間スピーチダイジェスト

#### テーマ 「返上」「やすらぎ」

##### 中久木 一乗：「返上」

「年寄りには忙しいのよ」と言っていた母と同じ 80 歳を過ぎると、何をしたのか、何をしているのか、何をやるのか、皆忘れる能力が向上し、結果として毎日が大変忙しい。さらに「忙しい」と言うことも忘れてしまうので「今後は、何事も、返上することにしたが、このこともまた忘れるから、念仏の様に常に唱えることにした。

「コンゴ…ナニモ…大したことも へんじョウ！」「ナニモ たいし 返上 今後」フト気づくと、これは、大覚院の御住職から教わった 3 回唱えて天国へ行く念仏と同じでした。「なむ たいし へんじョウ こんごう」「南無 大師 遍照 金剛」「ナム タイシ へんじョウ コンゴウ」(南無は帰依する意で、大師は空海)。私も雑用を返上し、世の中を遍く照す様になりたい。

##### 工藤 文夫「やすらぎ」

「やすらぎ」だなあーと感ずることがない毎日ですが、無理やり思い返すと、前にも話したと思いますが、数年前の実家で、亡くなった母との数か月の出来事を思い出します。兄弟で母の面倒を交代で見守ったわけですが、その兄も亡くなり、私一人で世話をする羽目になり、50 年ぶりに同居することになりました。母が 23 歳の時に私が生まれ、歳が近いせいか、90 代と 70 代の二人を世間は「親子」でなく「夫婦」に見えるようで、買い物しても、タクシーに乗っても、病院でも同様の扱いを受けました。言われて、いちいち答えない為、そのままで過ごした日々に「やすらぎ」と言うよりも「ほほえましい」と感ずるこの頃です。

##### 植野 晏生：「幸福の木に花が咲いた」

幸福の木に花が咲いた。10 年に一度の花で非常にラッキーだという人と不幸が来るといふ人がいる。エリザベス女王の国葬の日(女房の誕生日)に私はめまいと吐き気に襲われた。内科と耳鼻咽喉科に行きなんとか治ったが先のコロナ感染の後不幸は続いた。日本の国葬は評価が二分している。安倍さんなので次は晋三(心臓)に注意しようか。そんな時和田秀樹の「80 歳の壁」を読み始めた。足腰の衰えを感ずるが、72 歳の健康寿命を超えた。めでたいことではないか。これからは、幸齢者は「老いを受け入れ得ることを大事にする」和田流の生き方をしたいと思う。

##### 川田 茂雄：「電子レンジ買い替えと、色々なメニュー」(欠席だが投稿)

8 月に、電子レンジを、なけなしの金をはたいて、メニューが沢山入っている最新型を、近所の『街の電器屋さん』から買いました。特に鶏のから揚げを、油を使わずに作れるのが魅力でした。早速鶏のから揚げに挑戦しましたが、レシピをキッチンと守って作らなかつた為に、何とか食べれましたが、出来はイマイチでした。先日、その電器やさんに会った時、『色々なメニューやっていますか?』と、声を掛けてきました。私は、『色々までは行かないけど、色・程度ですね!』と反応したら、嬉しそうに笑っていました。

##### 町田 雅和：「やすらぎ」

やすらぎと言えば、小川のせせらぎとか、サイフォンでコーヒーを入れる音とか、風鈴の音とか・・・音で感ずることが多いと思いますが、今日は私がやすらぎを感ずる、音の出る品物を 2 つ持参しました。お聞きください。1 つ目は「ティンシャベル」と

いうチベット密教で使われる、小さなシンバルのようなものです。♪ティーン……やすらぎましたか？2 つ目はカエルの鳴き声です。これはベトナム旅行のお土産で買いました。♪ゲロゲロ……いいでしょう

### 佐々木 由美子：「やすらぎ」

夏山登山に行けなかったのも、ストレスがかなり溜まっていた。そんなある日、数か月ぶりにオオタカの森（自称）に入った。踏み跡のある緩い登りを進む。小鳥の囀り、葉擦れの音、土を踏む音がダイレクトに五感に入る。すると突然、深い森の中に入り込んだ感覚にとらわれた。「ああ〜」と小さな喜びの音が漏れる。このまま逝ってしまったら本当の”やすらぎ“（笑）

### 飯野 望：「やすらぎ」

お茶を飲んだり、動物と遊んだり、温泉に入るのもいいですが、旅行支援のいま、東海道がお勧めです。

京都三条大橋から……大津、草津、石部、愛の土山……島田も過ぎて……四日市……富士見白酒……箱根小田原……保土ヶ谷、日暮里、日本橋。安らぎの旅でした。

### 長嶋 秀治：「返上」

家内から忘れ物常習者と見られている。今日出かける支度をしていてスイカがないことに気づく。定位置に無い。直近の外出は金曜日で駅を出て帰っているのに家に無ければ落としたかも……JR 遺失物係に電話をするが5回かけても通ぜず再度記憶をたどる。そうだ土曜日に購入していた指定席券をキャンセルしに千葉駅に出向いたんだ。いつもシャツの胸ポケットが指定場所なのにその日着ていった半そでのポロシャツにはポケットがない。上に着ていったジャンバーのポケットに有るかも。推理は当たった。忘れ物常習者の汚名を返上したい。

#### 予告：12月 「船橋ユーモアスピーチの会」

12月8日（木）15時15分～ 船橋中央公民館 4階 第2集会室  
ロングスピーチ

入江 清之さま：

「誰かに話したくなる 江戸東京 歴史のウソ・ホント？」

辻内 京子さま：「身近な防災 停電から学んだこと」

スピーチテーマ 「今年1年を振り返って」、「自由題」

※ 3分間スピーチのダイジェストを、200字程度にまとめて送って下されば、会報誌に掲載いたします。原稿はメールに直接書き込むかワードでお送り下さい。 mac555new@ybb.ne.jp

